



堀 譲 議員

YUZURU HORII



コロナ対策について

問 感染者数の急増によって、市内の発熱外来やPCR検査の体制は充分に取れているか。

答 発熱等診療、検査医療機関は、21医療機関あり、診療・検査日・問い合わせ可能時間を市のホームページで公表している。

感染に不安のある無症状の方は、市内4か所の薬局でPCR検査または抗原定性検査を無料で受けられる体制が整っている。

問 「自宅療養」の高齢者は、急に体調の変化を引き起こすこともある。休日・夜間等の相談体制はどうなっているか。

答 県が設置している土日・祝日を含む24時間体制の「新型コロナ健康相談コールセンター」で受け付けている。また、自宅療養をされる方には、療養開始時に「自宅療養者等相談支援センター」を紹介し、相談対応が行われている。

農業振興策について

問 認定農業者や集落営農組織の育成に努めているが、小規模農家の経営維持のためには、どのような支援があるのか。また、若者の新規就農者も増えてきているが、その人たちへの支援にはどのようなものがあるのか。

答 小規模農家及び新たに農業に取り組む若者への支援策として、「新規就農総合支援事業」「農地集積促進事業」「認定農業者育成支援事業」を実施しており、競争力を高め、安定的に継続した運営を図っている。

問 近年、自然農法、有機農法が注目を集めている。これらへの対応はどうなっているのか。

答 有機農業等を取り組む農業者に「環境保全型農業支援事業」として、補助金を交付している。また、有機農業教室を開催している団体への支援やPR活動を実施している。

その他の質問事項

- コロナ感染者の状況把握
- 抗原簡易検査キットの配布
- 地元農産物の販路拡大
- 農業体験状況



畑山 剛一 議員

TAKAKAZU HATAYAMA



ワクチン接種で未然に防ぐ帯状疱疹

帯状疱疹

問 帯状疱疹は、子どもの頃に感染する水ぼうそうと同じウイルスが原因で起こる皮膚の病気です。日本人成人の90%以上は、このウイルスが体内に潜伏しており、80歳までに約3人に1人が発症する。帯状疱疹のワクチンを接種することで、重症化や合併症を予防できるが、2回の接種で約5万円全額自己負担は高額で、接種を受けたいが、足踏みしている方もいる。市民の健康を守るため、ワクチン接種費用の助成をするべきではないか。

答 予防接種法に基づく定期接種以外のワクチン接種の助成について、現時点では助成を行う

50歳を過ぎたら
気を付けたい**帯状疱疹**

早期発見、早期治療が
大切です。

予定はないが、定期予防接種化を含めた国の方針が示された場合は、その方針に基づき、速やかに対応する。

問 障害者手帳のデメリットをなくす神アプリ

障害者手帳による運賃の割引を受けるためには、常に手帳を持ち歩く必要があり、紛失や個人情報漏洩リスクがある。

「ミライロID」は、スマートフォンアプリのサービスで、国からも障害者手帳との連携を許可されているため、障害者手帳の利便性の向上に繋がっている。

答 障害者手帳のデジタル化は、障害のある方の利便性の向上や社会促進につながるため、関係職員で構成するシステム研究会で調査研究を行っており、導入に向けて検討している。



障害者手帳を、あなたのスマホへ。